

2024年6月24日
ルクサナバイオテック株式会社

ルクサナバイオテックとレナサイエンス
アンチセンス核酸の遺伝性神経難病治療薬の開発を目指した共同研究契約を締結

ルクサナバイオテック株式会社（代表取締役社長 CEO：佐藤秀昭、本社：大阪府吹田市、以下「ルクサナバイオテック」）と、株式会社レナサイエンス（代表取締役社長：内藤幸嗣、本社：東京都中央区、以下「レナサイエンス」）は、アンチセンス核酸を用いた遺伝性神経難病治療薬の研究開発を目的とする共同研究契約を締結したことをお知らせします。

ルクサナバイオテックは、大阪大学発の画期的な人工修飾核酸技術（以下「ルクサナ XNAs 技術」）を基盤とし、アンチセンス核酸創薬プラットフォーム（以下「LuxiAP[®]」）を構築、強化し、自社及び製薬会社等との共同創薬研究を推進してまいりました。ルクサナ XNAs 技術は、核酸医薬品の安全性及び有効性の課題を解決し得る特徴を有し、複数の製薬会社との技術ライセンス契約や共同研究契約の獲得に至っております。これまでの創薬研究活動から得られたある特定の遺伝子を標的とするアンチセンス核酸について、難聴治療薬としての可能性を検討してまいりました。一方、レナサイエンスは、医療の課題を解決するため様々なモダリティを活用した医療ソリューションを研究開発しており、医師主導治験を活用した臨床試験を複数のパイプラインで実施しています。

この度、ルクサナバイオテックとレナサイエンスは、両者の強みである科学技術力を結集し、アンチセンス核酸の神経難病治療薬を創出することを目標として、共同研究契約を締結しました。本共同研究により、ルクサナ XNAs 技術を用いた核酸医薬品の開発が促進され、社会実装が加速されることを期待します。

ルクサナ XNAs 技術について：

大阪大学大学院薬学研究科生物有機化学分野 小比賀 聡教授らの研究成果により生み出された、AmNA[®]、scpBNA[®]、GuNA[®]、5'-CP[®]等の人工修飾核酸群を総称して「ルクサナ XNAs 技術」と称します。RNA への強い結合力や高い毒性低減効果の特性を生かし、高活性と低毒性を両立したアンチセンス核酸を創製することができます。

LuxiAP[®]について：

LuxiAP[®]は、Luxna's XNAs incorporated Antisense Platform の略称であり、ルクサナ XNAs 技術が組み込まれたアンチセンス核酸の創薬プラットフォームをいいます。LuxiAP[®]は、創薬の成功確率を高め、効率的に開発候補化合物を創出する独自の基盤技術であり、1年半から2年程度で開発候補化合物が得られます。

2024年6月24日

株式会社レナサイエンスについて：

レナサイエンスは、医療課題を解決するための多様なモダリティ（医薬品、医療機器、人工知能（AI）ソリューション等）を医療現場で開発し、ヒトが心身共に生涯にわたって健康を享受できるための新しい医療を創造したいと考えています。レナサイエンスは2021年9月に東京証券取引所マザーズ市場に上場しました。

詳細は同社のホームページ <https://www.renascience.co.jp/> をご覧ください。

ルクサナバイオテック株式会社について：

ルクサナバイオテックは、大阪大学発の人工修飾核酸群を基盤とした核酸医薬創薬プラットフォーム LuxiAP®を用いて、安全かつ効果的な医薬品の実用化を進めるために設立されたバイオテックです。有効な薬のない病気と闘う患者さんと支える方々へ福音となる核酸医薬品を届けることをめざしています。アンチセンス核酸を主開発品とし、複数の製薬会社との共同開発と自社創薬を積極的に推進しています。

【問い合わせ】

ルクサナバイオテック株式会社 管理部

E-mail: info@luxnabiotech.co.jp

HP : <https://luxnabiotech.co.jp/>